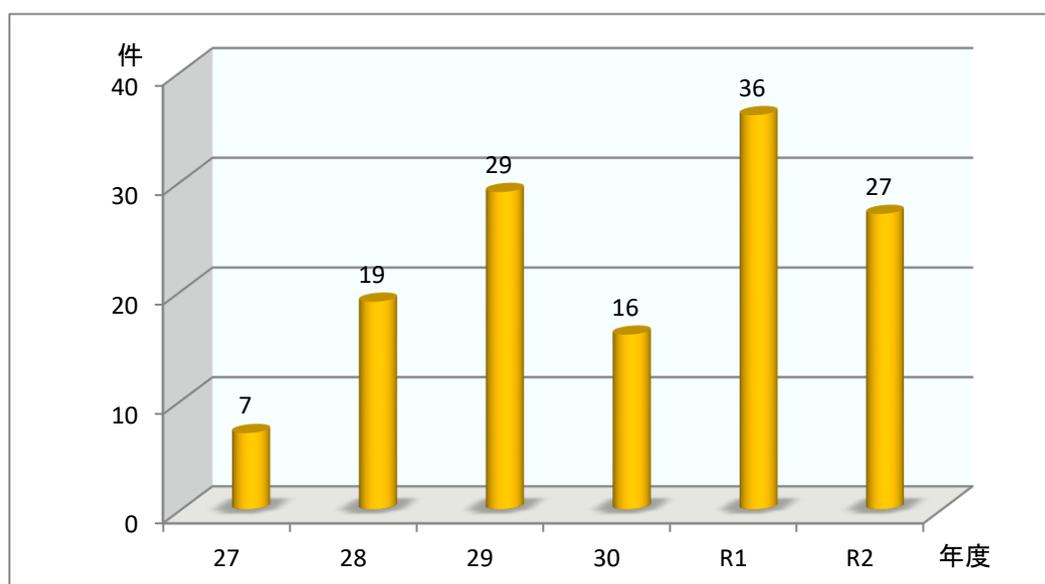


7 脳血栓回収術施行数

解説

脳梗塞は、脳動脈に血栓が詰まることによって血液が流れなくなり、脳細胞が死んでしまう病気です。この脳動脈を塞いでいる血栓を溶かす「t-PA静注療法」が発症4.5時間以内の標準治療ですが、効果がない場合や適応外の場合、本院ではカテーテルを用いて血栓を回収する「脳血栓回収術」を実施しています。この治療は、脳血管内治療専門医または訓練と研修を受けた医師だけが行うことのできる治療であり、急性期脳卒中診療を担う施設では必須の治療手技となっています。

実績



自己点検評価

搬入後30～50分での血栓回収療法を行っており、治療後3か月の自立生活割合は60%前後を保っております。世界標準以上の対応が達成されています。

定義

各年度1年間の脳血栓回収術の実施数

算式

実施数